

2021 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんこどもかぞくせいかつさぽーとせんたーいとでんわ	
団体名	特定非営利活動法人子ども家族生活サポートセンターいとでんわ	
代表者名	三宅 奈美江	
連絡先	住所	岡山県倉敷市鶴形一丁目2番15号鶴形ビル206号室
	TEL	090-1187-5092
	E-mail	kodomokazokuitodenwa@gmail.com
	URL	https://k-itodenwa.amebaownd.com/
設立年（西暦）	2014 年	
助成活動名	離婚後の親子面会交流支援やひとり親家庭の子ども及び親の相談支援事業。	
助成額	350,000 円	
活動内容	目的	<p>コロナウィルスの拡大は、社会的脆弱性を明らかにしている。元来、地域から孤立しがちであったひとり親世帯は、密を避ける世相の中で、さらに孤立する状況が高まっている。</p> <p>孤立を防ぎ、社会との関わりを構築するための居場所をつくり、支援を通して再出発を支援する。</p>
	内容	<p>ひとり親の思い、情報の共有、居場所づくり</p> <p>離婚を経験した子どもへの遊びや学習支援を通してのケア</p> <p>離婚を前提としている当事者への法律知識の情報提供や生活設計の伴走型支援</p>
	成果	<p>事務所の整備を行い、また通信環境の整備を行うことにより zoom での面談を円滑明瞭に行えるようになった。</p> <p>また、zoom を利用することにより専門職や当事者も必ずしも相談場所にてむかないといけないという縛りを解くことができたため、比較的自由に面談を組むことができた。一方、心理職について面会交流自体への同行や面会交流中に一人となる母親等へのサポートを事業として検討したものの、土日を中心として時間がとられる都合から心理職の都合が合わずに見送っている。このため、ケース会議を多く開催することを前提として動くこととなった。</p>
今後の課題と対応策	<p>かかわる専門職が少ないため、相談や同行に応じようにも人手が足りないという事態ともなってしまったため、関与する専門職の数を増やしたい。</p> <p>また、距離的な問題が解消されはしたものの、相談者によっては現実の距離感により、その後の継続的なかわりにいたっていないケースがある。相談者にとっては、一時的な関与ということを希望していた可能性もないが、点のサポートよりも線または面でのサポートが重要となるため、その他の機関との連携含め検討すべきと思われる。</p>	
写真の提出		

--	--